

# 地域の話題



## 2/14 仙北市

### 第36回消防職員意見発表秋田県大会 阿部和範さん（西木町 松木内）が最優秀賞

2月14日に消防職員意見発表秋田県大会がホテルメトロポリタン秋田で開催され、県内の消防職員12人が仕事を通じて感じたことや救急・消防活動改善に向けた提案などを発表しました。

この大会で、「真・救急車適正利用のすすめ」と題し、本来緊急性があるにもかかわらず慣れない通報にためらい、タクシーや家族の運転で病院に向かうといった実体験を元に、その対応方法について発表した、西木分署の消防士 阿部和範さんが最優秀賞に選ばれました。4月に盛岡で行われる東北大会に秋田県代表として出場する阿部さんは、20日、市役所に受賞報告に訪れ「北九州（全国大会会場）に行けるように東北大会で精一杯頑張ってきました」と抱負を語りました。



▲阿部さん（右の写真右から2人目）が提案する「真・救急車適正利用カード」。カードにある症状の場合、ためらわず119番に連絡するよう記されています。

## 2/17 西木地区

### 紙風船西木ふるさと会最後の合同開催 今後は各組織での活動へ

2月17日、上野精養軒（東京都）で、西木町出身の首都圏在住者約100人が集まり、第25回紙風船西木ふるさと会が開かれました。

西木ふるさと会としての合同開催は今回が最後。今後は上松木内・松木内・西明寺それぞれの地区出身者で構成される3つの組織での活動となります。挨拶の中で門脇市長は、「何か新しいものを掴むには、それまで握っていたものを手放さなければいけないことがある。今回の判断は未来に向かっての行動が起きたということ」と今後のさらなる活躍に期待しました。



▲首都圏に住む西木町出身の会員の皆さん

## 3/3 田沢湖地区

### 生保内財産区管理委員会一般選挙 投票結果

任期満了に伴う仙北市生保内財産区管理委員会一般選挙が2月26日に告示され、3月3日に投票が行われました。

立候補の届出をした候補者数は8人（現職6人、新人2人）でした。選挙の結果は次のとおりです。（得票順、敬称略）

問合せ／仙北市選挙管理委員会事務局  
☎（43）1150

得票数	氏名	年齢	住所	当落別
482,000	三浦 久	64	田沢湖湯	当選
451,000	荒木田 作榮	61	田沢湖生保内	当選
433,028	田口 峻吉	59	田沢湖生保内	当選
408,971	田口 晶英	62	田沢湖生保内	当選
386,000	難波 和夫	73	田沢湖生保内	当選
238,000	田村 與志美	64	田沢湖刺巻	当選
214,000	千葉 正登	73	田沢湖生保内	当選
47,000	梅田 時春	76	田沢湖生保内	次点

## 今回の表紙

## 3/8 田沢湖地区

### んみやもの伝承教室 賑やかに『んみやもの』作り

3月8日、神代就業改善センターで地域の食材を使った料理教室『んみやもの伝承教室』が行われました。この日のメニューは『おこわ』と『オレンジムース』。参加者は講師の千田ミワさん（田沢湖田沢）からおいしく作るコツを教わりながら、手際よく調理していききました。

料理が出来上がるとその場で試食し、「んみやごど」「んみやなあ」と舌鼓。部屋中に笑顔が溢れました。



▲できたてのおこわ。絶品です。

## 2/23 田沢湖地区

### 中生保内で「雪あそび」開催 世代を超え交流、冬を楽しむ

2月23日、仙北市中生保内農村運動広場で「雪あそび」が行われ、地域の老若男女が集まり、世代を超えて交流を深めました。

雪寄せなど大変な思いをする雪を地域みんなで楽しむことはできないかと有志が企画。数日前から地域を上げて準備された会場には、かまくらや大きな滑り台が設置され、子どもたちがそり滑りを楽しんでいました。隣接する会館ではつきたてのお餅が振るまわれたほか、夕暮れにはミニかまくらに火が灯されるなど、趣向を凝らした1日に会場は笑顔に包まれました。



▲雪の上ではきれいな花火も ▲そり遊びに大喜び

## 2/22～3/20 角館地区

### 角館雛めぐり 町内各所にお雛様

2月22日から角館雛めぐり（主催：角館雛めぐり推進委員会 堺研太郎委員長）が行われました。

角館に代々受け継がれてきた享保雛や古今雛などの雛人形が町内各所に展示され、多くの人が町内を歩きながら雛めぐりを楽しみました。この角館雛めぐりは3月20日まで行われます。

問合せ／仙北市商工会角館本所  
☎（54）2304



▲仙北市商工会1階『かつらぎ』に展示してある今から100年以上前の古今雛

## 2月下旬 仙北市

### 塩保管ボックス購入 ご厚意に感謝

この度、震災支援で交流のある岩手県山田町から「塩保管ボックス（4基）」の購入の報告がありました。これは、震災復興に役立て

てほしいと株式会社タカヤナギ（高柳智史代表取締役社長）から昨年10月（12日）に贈呈された寄附金で山田町が購入したものです。山田町の仮設団地の坂道や階段に設置され、地域内の更なる安全確保に役立ちます。



▲2月下旬、山田町に設置された『塩保管ボックス』

## 訂正とお詫び

広報せんぼく2月1日号の7ページ「第8回仙北市書初大会」の大会成績に誤りがありました。下記のとおり訂正してお詫びいたします。  
（誤）高橋匠一（生保内小4年） → （正）高橋匠一（中川小4年）